

3学期と1年間を振り返って

2年3組 中澤麻耶

今日で中学校生活の3分の2が終わりとなりました。3学期は「最高学年」という次のステージに向けて、今までの課題を解決できるよう取り組んできました。

今学期は自分で考えて休み時間を過ごすことができたと思います。1、2学期は多くの人が廊下に出て、走り回ってふざけたり、大人数で集まって話していたりしました。そのため、用のある人の邪魔になったり、給食のワゴンが通りづらい状況でした。そこで2学期に、廊下で他の人に迷惑をかけている人に対して、活発に呼びかけを行いました。2学期は呼びかけが必要でしたが、3学期は呼びかけなしでも周りに気を配って行動できる人が増えました。これは2学期から大きく成長できた証拠だと思います。継続していきましょう。ですが、ときどきトイレにたまって話していたり、授業開始2分前になってから準備したりする人がいるので、直していきましょう。

次に1年間を振り返ります。一番の成果は、行事を通して協力する大切さを知り、団結が強まったことです。林間学校では、登山や飯盒炊飯、キャンプファイヤーなどで声を掛け合いながら仲間と協力し、全力で楽しみました。そのため、クラスや学年の絆と団結がより強固なものになりました。今年度はコロナウイルスが少し落ちついたことで、昨年度できなかった体育祭や柏葉祭を実施することができました。初めてのことでわからないこともたくさんありましたが、実行委員や歌声委員を中心に練習を重ねたことで一生懸命取り組む人が増えました。そしてクラスで気持ちを1つにして、どちらもやり遂げることができました。これからも協力・団結を大切に、唯一無二の絆を創っていきましょう。

こうした成果が上がった一方、大きな課題もありました。みなさん、学校のスローガン、「自主考動」は徹底できていますか。先ほど3学期の成果で述べたように、1学期の頃と比べると自分から行動する人が増えたと感じます。しかし、3学期始業式に伊藤さんからありましたが、授業中や挨拶の際に他人をあてにして、自分はほとんど何もしない「人任せ」な人がまだまだいると思います。「自主考動できている」と自信をもっていえるように、みそあじ・しおあじなどの基本のことをしっかり行い、人に言われる前に行動しましょう。

春休みが明けると、いよいよ最高学年です。自分たちが五中を引っ張っていく覚悟はできていますか。1人1人が最高学年として自覚を持ち自主考動をし、最高の学年を作りましょう。最後に、この学年の仲間と過ごせるのも残り1年となります。1日、いや1分1秒を大切に過ごし、たくさんの思い出を作りましょう。